

みちのく秋田で育まれたサルナシ資源

— 林業研究研修センター訪問 —

秋田で開かれた園芸学会秋季大会に参加・発表のため、空路現地に。空港近くに整備された秋田県立林業研究研修センターの研究員の佐藤さんをお願いして、収集保存されているサルナシを見せていただきました。佐藤さんは、サルナシの染色体の倍数性に関する全国的な調査研究のメンバーで、その成果をとりまとめた国際誌の論文の共著者の一人です。

研究圃場に収集保存されていたサルナシは、果実の大きさ、形など多様性に富んでおり、有用な地域資源としての高いポテンシャルを感じました。

欧米ではアジアから導入したサルナシをもとに品種改良や栽培普及が進んでいます。日本国内の多様な自生資源を積極的に活用することで、優れた品種の選抜や新たな利用の可能性が広がるに違いありません。

二〇〇九年九月二十五日

